

職員の指導力の向上に資する。

間 県内12会場

② 研究主題

ア 自ら考え正しく判断し、実践力のある児童の育成を重視した学習指導

イ 各部研究主題

ウ 参加者

国、公、私立の小学校教員

○地区研究協議会 9,232名

○県研究協議会 2,049名

エ 指導助言者

指導主事、指導委員、校長、教頭、教諭等

(3) 福島県中学校教育研究会

① 目的

中学校教育において、当面する教育課程の実施に伴う指導上の諸問題について組織的な研究を行い、その結果をもとに研究協議し、中学校教育の充実を図るとともに、教職員の指導力の向上に資する。

② 研究主題

ア 基本問題

人間性豊かな生徒を育成するために、各教科等における指導をどのようにすればよいか。

イ 各部研究主題

部 会	期 間	研 究 主 題
国 語	自 58 至 60	正しい豊かな国語力を育てる指導は、どのように進めたらよいか。
社 会	"	自ら社会的事象を追及し、社会生活の意味を考える授業は、どうすればよいか。
算 数	"	意欲をもって問題を解決し、基礎的・基本的事項を確かに身につける指導は、どうすればよいか。
理 科	"	自然事象の中から問題を見つけ、自ら解決できる児童を育てるには、どうすればよいか。
音 楽	"	心から音楽を愛好する心情を育て、進んで音楽の楽しさ美しさを求めようとする児童の育成は、どうすればよいか。
図面工作	"	一人一人に造形活動の喜びを味わわせ、創造的表現力を高める指導は、どうすればよいか。
家 庭	"	自ら家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる指導は、どうすればよいか。
体 育	"	進んで学習し、運動能力を高め、楽しさがわかる児童を育てる指導は、どうすればよいか。
道 徳	"	児童自らが生活の高まりを求める道徳の授業は、どのようにすればよいか。
特別活動	"	所属する集団の一員としての役割を自覚し、自発的・自治的な実践活動をする児童を育てる指導助言は、どうすればよいか。
視聴覚教育	"	学習意欲を高めるために、視聴覚教材や教育機器を、どう活用すればよいか。
教育評価	"	目標に応じた学習過程の評価を通して、児童の自己たしかめを、どう育てたらよいか。

③ 組織及び財政の状況

○会長 古 関 二 郎 福島市立北沢又小学校

○会員数 8,023名

○昭和59年度決算額 9,802,486円

上記のうち補助金額 1,610,000円

④ 主な事業

○研究協議会

ア 主 催

福島県教育委員会、福島県小学校教育研究会

イ 期日・会場

(ア) 地区研究協議会 7月23日～8月6日の内1日
間 県内16会場

(イ) 県研究協議会 9月26日～11月2日の内2日

部 会	研究主題・昭和59年度(第1年次)研究副主 題
国 語	国語科における基礎的・基本的事項の定着を図る指導は、どうあればよいか。 ○ 表現領域(作文・朗読等)における「意欲を高め、わかる授業」の展開
社 会	自ら学び、考える力を育成するために、社会科の授業をどうすればよいか。 ○ 生徒を生かすゆとりある授業
数 学	数学に対する関心・態度を高め、自ら学びとる力を身につけさせるには、どのようにすればよいか。 ○ 「数と式」の領域
理 科	生徒が自ら意欲的に自然を調べるための授業は、どうあればよいか。 ○ 身近な教材を取り入れた授業の計画
音 楽	音楽を愛好する心情を育てる指導は、どうあればよいか。 ○ 音楽的諸能力を育てる指導
美 術	生徒の能力を生かして、表現意欲をおこさせるために、どのような手だてをすればよいか。 ○ 題材の見直しと開発(平面)
保健体育	運動の合理的な実践を通して、運動に親しむ習慣を育て、体力の向上を図る授業を、どうすればよいか。 ～豊かな人間性をめざして～ ○ 生徒が見通しをもって、主体的に学習に取り組める指導計画の改善
技術・家庭	進んで課題をとらえ、実践の喜びを大切にする指導は、どうすればよいか。 ○ 学習意欲を高める授業の評価